

聞いて納得
おいしい!
やまぐち



**中国地方最大級の
夏秋トマト産地の
安心・安全でおいしい
トマトづくりの技に注目!**

夏野菜の代表選手、トマト。
県内各地で栽培されている中でも、
萩市むつみ・福栄地区、阿東町、阿武町は、
中国地方最大級の夏秋トマト産地です。
安心・安全かつおいしいトマトづくりに
取材してきました!



Q どうしてこの地域で栽培されているのですか?

山口県の中山間部に位置する萩市、阿東町および阿武町では、年平均気温13℃~15℃で夏季でも比較的涼しく、冷涼な気候条件を好む夏秋トマトづくりに適しているからです。



「まるごと!」キャラクターとまろちゃん

Q いつごろから栽培されるようになったのですか?

萩市(旧むつみ村高保地区)では、昭和51年に栽培が始まりました。その後徐々に近隣地域にも広がって、平成9年には阿武町、福栄村(現在は萩市)も加わってJA山口阿武(現在はJAあぶらんど萩高保雨よけ部会)の「高保トマト」の名で親しまれてきました。阿東町では、昭和57年から始まりました。その後、生産が拡大。JA山口中央阿東トマト部会の「阿東夢トマト」の名で親しまれてきました。

Q 「山口あぶトマト」って?

県内の2大産地であった高保トマトと阿東夢トマトが平成17年2月に統合して「山口あぶトマト部会」を設立。新しいブランド「山口あぶトマト」が誕生しました。これによって、これまで以上に消費者の皆さんにトマトを安定して出荷できるようになりました。現在、部会員は110名、栽培面積は15.4ヘクタールです。これは、きららドーム3.5個分の広さです。



Q 栽培品種は? その特徴は?

主な品種は「桃太郎エイト」や「桃太郎ファイト」です。ツヤがあること、高い糖度、少ない酸味、店頭で棚持ちがよいのが特徴です。また、今年から「麗夏」という新しい品種の栽培にも取り組んでいます。「麗夏」は糖度は高い一方でやや酸味が多く、昔のトマトの風味もすることから、酸味を好む消費者に好評です。部会全体で消費者の幅広いニーズにこたえる努力をしています。

なぜ?なに?を農家さんに聞いたよ!

山口あぶトマト部会 部会長 吉岡 泰さん



雨よけトマトづくりは最初、稲の育苗ハウスを活用して始まりました。現在は、台風などへの耐久性があり、曇り防止対策も備えた専用のパイプハウスで作っています。



トマトは雨にあたると、病気が発生しやすくなります。そのため雨をよけてパイプハウスの中で栽培するトマトを「雨よけトマト」といいます。

Q 安心・安全なトマトづくりのためにしている「こと」は??

部会全体で化学農薬や化学肥料の使用を減らす取り組みを進めてきた結果、平成17年には部会全員が県のエコファーマーに認定されました。土づくりに欠かせない堆肥は、地元畜産農家と連携し、JA堆肥センターで作られた良質な有機物堆肥を使用し、連作障害のないトマトづくりに努めています。そのほかにもビニールハウスを防虫ネットで囲むなど環境にやさしいさまざまな技術を積極的に取り入れています。

※1 持続農業法に基づき環境に優しい農業を実現
する農業者の「エコファーマー」認定済みです。
※2 同じ畑で同じ作物を毎年続けて栽培したとき
に、徐々に土壌が弱くなるためです。



①病害虫の侵入を防ぐ防虫ネットや、②虫をとる粘着テープ、③害虫の産卵を防ぐテープを利用するなど、病害虫の防除に力を入れて化学農薬の使用を減らしています。



Q いつ植えて、いつ収穫するの?

5月上旬から6月上旬に植え付けて、6月末から11月末ごろにかけて収穫。長期間にわたって市場に安定してトマトを供給できるよう取り組んでいます。

